

劣化した高架橋スラブの補修・補強工法

コンクリート構造研究室

- ◆ 大規模な足場を必要としないため、施工性が向上します。
- ◆ UFCボードは薄肉軽量であり、人力施工が可能です。
- ◆ UFCボードは既設スラブとの一体化により、引張材として機能します。

□ 概要 本工法は、既設ラーメン高架橋中間スラブの補修・補強工法です。1枚10kg程度の超高強度繊維補強コンクリート(UFC)パネルをスラブ下面に配置することによって補強します(図1~4)。

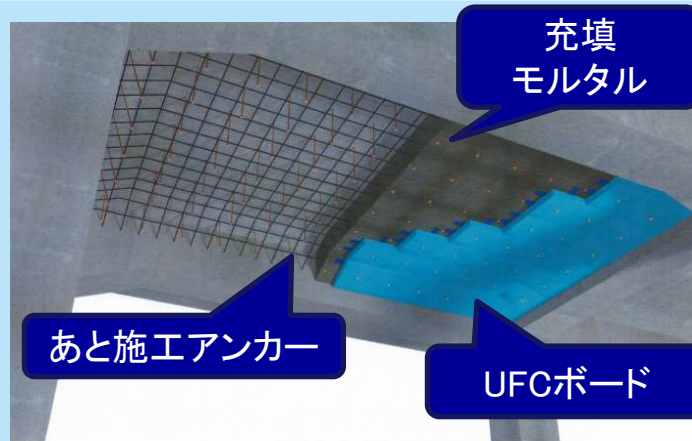


図1 工法イメージ

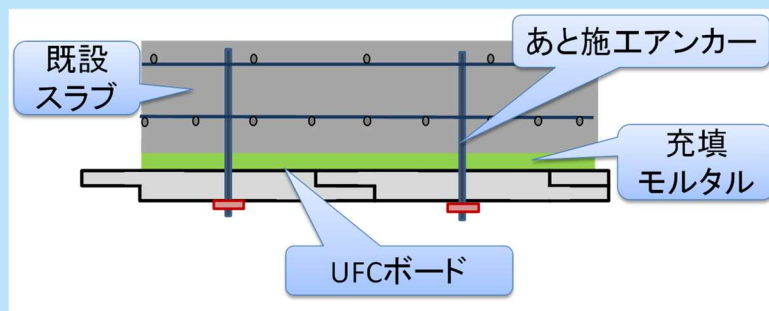


図2 既設スラブと補強部分の断面図

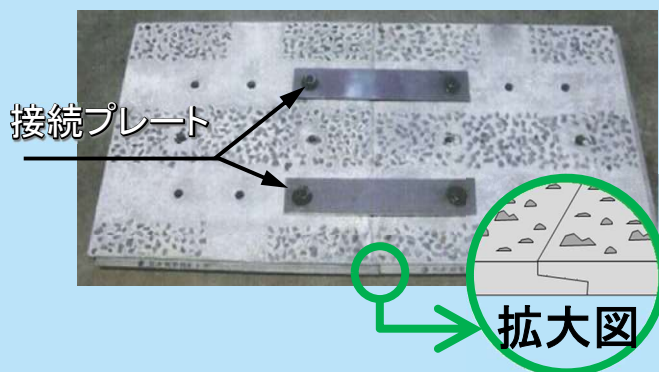


図3 UFCパネル(2枚設置した場合)

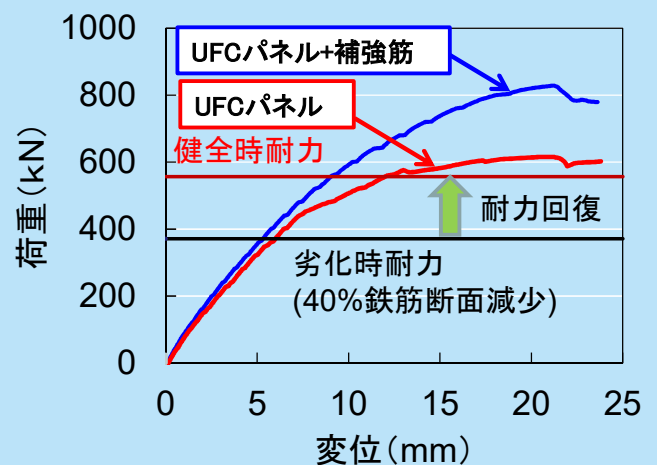


図4 補強効果(荷重-変位関係)

※本工法は、東急建設株式会社、太平洋セメント株式会社と共同で開発したものです。
(特許第5819262号)

※問合せ先: 東急建設株式会社 技術統括部技術推進部技術管理グループ TEL: 03-5466-5272